

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	第 6 回 所沢市産業振興ビジョン策定委員会
開 催 日 時	平成 29 年 7 月 31 日(月)13:00~15:00
開 催 場 所	所沢市役所低層棟 3F 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	荻野敏行 河藤佳彦 工藤浩一 久野美和子 千年篤 政所利子
欠 席 者 の 氏 名	朝倉はるみ
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 所沢市産業振興ビジョン(案)について (2) パブリックコメントの実施について (3) 意見交換等 (4) その他
会 議 資 料	資料 6-1: 所沢市産業振興ビジョン(案) 資料 6-2: 第 5 回策定委員会での指摘事項及び修正等の対応について 参考資料: 市内産業関連団体との懇談会(第二回)結果概要
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 村松由朗 産業経済部 次長 増田謙二 産業経済部 産業振興課 課長 青木邦雄 主査 村田貴紀 主任 菅井悠登 産業経済部 商業観光課 課長 柳田晃芳 主幹 吉永寿久 産業経済部 農業振興課 課長 三枝恵一 主任 須田芳人 産業経済部産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
青木課長	開会
河藤委員長	あいさつ
事務局	議題（１）所沢市産業振興ビジョン（案）について 議題（２）パブリックコメントの実施について
	資料 6-1～6-3 に基づき説明。
委員長	意見交換に入る前に、本日欠席の朝倉委員からの指摘事項とその対応について事務局から説明願いたい。
事務局	朝倉委員からのご指摘は以下 2 点であり、それぞれ事務局として考えている対応は次のとおりである。
	①アクションプランの網掛けの取組と先導プロジェクトとのつながりがわかりにくい。
	→先導プロジェクトのところに、「アクションプランの網掛けである」旨の説明を加える方向で検討。
	②基本方針 3 で新たに追加した「3-4 観光客誘致の強化」の施策が先導プロジェクトに含まれていないが、先導プロジェクトの中にも観光客誘致に関わる事業を挙げるべきではないか。
	→アクションプランにおいて、「①メディアを活用したプロモーションの充実」に網掛けをし、先導プロジェクトの「実現に向けた取組」に追加するとともに、「①メディアを活用したプロモーションの充実」に紐づく事業の中から重点事業をピックアップし、先導プロジェクトの重点事業に加える方向で検討。
	議題（３）意見交換
委員長	ここからは、資料 6-2 に整理された修正点を中心に意見交換を行いたい。自由に意見をいただきたいが、なかでも N02（「2-1 所沢市の産業構造と産業特性」と「2-2 産業を取り巻く社会経済情勢の変化」の順番を入れ替えるかどうか）、N011（施策体系の前に各主体の役割を移した修正が妥当かどうか）、及び先ほどの朝倉委員が

<p>委員</p>	<p>らの指摘事項の3点については特に重要な論点として議論したい。</p> <p>N02 について。2-1 所沢市の産業構造と 2-2 産業を取り巻く社会経済情勢の変化の順番の入れ替えは不要だと思う。現在の構成は非常に常識的であり、所沢の今の現状をまずきちんと示した上で、最近の社会経済情勢はどう変化しているのかに触れ、それを踏まえて所沢市はどう対応するか、という流れになっているので、このままでよいと思う。</p> <p>N011 について。私は以前の構成の方がよかったと思う。まず、産業振興ビジョンの実現に向けた施策体系を先に示して、そのあとに各主体の役割が示される方がよいのではないか。</p> <p>朝倉委員からの指摘事項について。先導プロジェクトとアクションプランのつながりは確かにわかりにくいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>N07 に関して。工業と農・商業のバランスが悪いという指摘に対する修正対応がよくわからない。施策の柱 2-1 は工業（製造業）に対する施策であり、主要施策 2-1-1 では付加価値の高い製品を作っている事業所を積極的に応援していくということが書かれているが、それに関連して示されている図が「地域資源を活用する事業者の連携イメージ」とある。工業（製造業）についても地域資源を活用した 6 次産業の発展を振興していきたいという市の方針であるならこれでよいが、農商工連携はどちらかというと第一次産業の側の施策としてイメージされると思う。工業（製造業）において高付加価値の取組を支援するというと、一般的には生産性の向上を図る取組や医工連携、あるいは IoT を活用した取組などを支援するのではないかとイメージした。工業（製造業）における高付加価値の取組への支援について、市はどのようなスタンスで考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>医工連携などももちろん重要と考えているが、本市は農業も盛んな地域なので、農商工連携も工業振興において重要と考えている。ただし、農商工連携は別の箇所でも触れており、農業振興に関わる施策のイメージが強いかもしれないので、ここで示す図がこれでよいかどうかは検討したい。</p>
<p>委員</p>	<p>第 2 章で所沢市の産業について緻密な SWOT 分析をしている。特に弱みや課題は非常に適切かつ具体的でよいと思う。分析としては</p>

事務局	<p>非常に的確だが、その弱みや課題をここまではっきり産業振興ビジョンに示して、市内の事業者が気落ちしないか。余計な心配だが。</p> <p>今回産業振興ビジョンを策定するにあたっては、そもそも担い手となる事業者の意見をきちんと聞く必要があるとの認識があり、まず所沢市の現状をきちんと把握することから始めるべきと考えた。</p>
事務局	<p>確かに厳しめのことを書いているが、実は市民もこうした市の弱みや課題について比較的理解しており、議会でもよくこういった話が出てくる。産業振興施策を立案する上で、市の現状をきちんと整理したということでご理解いただけたと考えている。</p>
委員	<p>資料 6-3（懇談会での意見）を見ると、結局市への要望ばかりで、自分たちはこうするという話が出てこない。市内事業者の多くは、まだまだ行政任せで、あまり自分たちでこうしていこうという主体性がないのではないかと思った。もしそういう行政頼みの事業者が多い場合、こういった厳しい現状を突きつけると、落ち込むのではないかと心配した。</p>
事務局	<p>懇談会は各業界団体の意見を引き出す場として開催したが、産業振興ビジョン策定の後も、進行管理をしていく上で各業界団体の協力を得ながら進めていきたいと考えている。市の弱みについても業界団体と共有した上で、どうしていくかというところから連携を始めたいと考えている。</p>
委員長	<p>事実を押さえておくのは大切である。強みと弱みを共有し、事業者の自立心を高めて協働していくのが理想だと思う。</p>
委員	<p>工業と農・商業のバランスが悪いという感は否めない。農業については狭山茶や里芋など具体的なイメージがわくが、工業や商業は統計的な数字だけを見てもイメージが浮かんでこない。工業振興について何をするかといえば、産業用地を整備して企業を誘致していくという点とコンテンツ産業を育成するという点が中心であろう。また商業については観光業を中心に振興を図るということであろう。そのようなイメージが、現状分析では見えにくいように感じる。</p>

委員長	<p>工業については、産業中分類から産業小分類で詳しく分析すると、どの分野が強いのかといったことがもう少しわかる。商業についてもエリアによって商店街の特色が違いただろう。ただし、産業振興ビジョンの中で農商工それぞれの分野の分析を同質に揃えるのは難しく、またアンバランスにもなるので、個別対応で分析するしかないのではないか。</p>
委員	<p>N011 について。私も以前の順番（施策体系の後に各主体の役割）方がよいと思う。特に P33 の網掛けしてある市民に期待することを施策より先に示した時に、市民の反発を買わないだろうか。市民に期待する役割をここまで細かく出すべきなのか。</p>
委員長	<p>確かに行政が各主体の役割をここまで細かく出すのか、ということが議論になるかもしれない。</p>
事務局	<p>市民の方々にはこのビジョンの内容を理解していただくことが最優先。各主体に期待する役割は、表現も含めて再度検討する。</p>
委員	<p>N012 など、編集も工夫されており、以前に比べてずいぶん見やすくなったと思う。構成については、市が委員長や各委員と個別にやり取りして十分検討したのであれば、それでよいのではないか。工業がイメージしにくいという指摘があったが、見えにくいことが所沢の特徴であるともいえる。工業系の用途地域は3%しかないのので何をやっているのか見えないのも無理はない。</p> <p>産業振興ビジョンは、わかりやすい戦略と中長期的な目標の両方をきちんと示すことが重要である。その点で、初めて見た人が気になる言葉はきちんと説明したほうが良い。具体的に言えば、「重点事業」とか「先導プロジェクト」が何を意味しているのか、どういう意味で「先導的」にやるのか、ということがわかりにくい。目標とする基本理念から先導プロジェクトまでの流れがわかるようにすればよいのではないか。</p> <p>取組に参加してほしい主体がこれを見た時に、どうやって参加するのかがわかるようにした方がよい。アクションプランについても、施策項目ごとに挟み込んだのはこれでよいので、最後にもう一度全体のアクションプランの一覧がある方がよい。写真などについても、まだ入っていないところがあるが、きちんと</p>

<p>委員長</p>	<p>意味を考えて関連性のある図や写真を入れてほしい。</p> <p>P28 に基本理念が示されていて、P29 に基本方針までの構成の図がある。この図の説明を入れればよいのではないか。数行でよいのだが、「基本理念」から「目指す姿」、「基本方針」がどういう構成になっているか、全体を見渡す説明を入れるとよいのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>産業構造の分析をみると、全体的に落ち込んでいるイメージを受けるが、それは見方を変えれば、市内で大きな構造変化が起きているということなのではないか。弱みや課題と捉えていることが、これまでにない新たな産業の動きが芽生え始めているということなのかもしれない。そうだとしたら、産業界の意識レベルは意外と高いという可能性もある。「生活と産業の融合」という点をもっと強調し、基本理念の実現化に向けたストーリーをどう作っていくかということが重要である。</p>
<p>委員長</p>	<p>色々な意見が出たが、ここで最初に挙げた3つの重要論点について一つずつクリアしていきたい。</p> <p>まず N02 について。実は、「2-2 産業を取り巻く社会経済情勢の変化」を前に移した方がよいというのは私の意見である。今の構成の方が一般的であるという指摘もよくわかっているが、産業振興ビジョンをなぜ作るのかということを示すときにその方が有効ではないかと考えた。具体的には、序章として「産業を取り巻く社会経済情勢の変化」を最初に出し、産業振興ビジョンの策定の背景として、産業を取り巻く社会経済情勢の変化を的確に捉え、そのうえで、全国的な課題を踏まえて市の現状を分析し、地域産業の新たな発展につなげていく必要がある、という考えをまず冒頭に示しておくという流れもあるのではと考えた。</p>
<p>委員</p>	<p>読み手の気持ちになって理解しやすい流れを考えながら読んでいたので、今のままの方がよいのではと思ったが、委員長の提案の趣旨もよくわかる。確かに序章として産業を取り巻く社会経済情勢の変化を先に示した方が、所沢市だけが落ち込んでいるのではないということがわかるかもしれない。</p>
<p>委員</p>	<p>2-1 産業を取り巻く社会経済情勢の変化、2-2 所沢の現状、2-3 所</p>

<p>委員長</p>	<p>沢の強みと弱み、の順の方がよいのでは。</p> <p>では、N02 については、2-1 と 2-2 を入れ替え、産業を取り巻く社会経済情勢の変化を先に出すということにしたい。</p> <p>次に N011、各主体の役割をどこに入れるのかという点について。私としては本日の構成案でよいと思うが、事務局の修正の意図は。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の第5回委員会で、アクションプランや重点事業に取組主体が示されているので、それより先に各主体の役割を示しておいた方がよいのではないかと指摘が委員からあったことも踏まえ、市で検討し、この章順に変えた。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員から異論がなければ、N011 については現案で決定したい。</p> <p>最後に朝倉委員からの意見への対応について、わかりやすくするという趣旨での修正なので方向性としてはよいのではと思う。一点、アクションプランと先導プロジェクトのつながりがわからないという指摘については、P45 のアクションプランの下にある※印の説明をもう少し大きくしたり矢印を入れるなどして、次のページにつながる事がわかるようにしたらよいのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>P40 に構成についての説明があるので、ここでアクションプランの網掛けの取組と先導プロジェクトの関わりを説明すれば済むことではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>全体的によくまとまっていると思った。今まで議論になっている N02 や N011 の構成の問題は、正直どちらでもよいと思う。それよりも重要なのは、このビジョンができた後、誰がどのように利用していくのかということではないかと。その点を考えながら第二回懇談会の意見を見ると、行政への不満や実務上の苦勞など、第一回懇談会の時に出た意見と同じような意見ばかりがみられる。いくら立派なビジョンができて、実務とのギャップがありすぎて不安を感じる。高度な取組内容を掲げても、事業者は理解できても実務でそこまでの対応はできないと思う。策定後、このビジョンを誰がどう使うのか、果たして使い勝手がいいのか、使う価値があるのか、ということの方が大切ではないかと。事業者はこれをどう活用したらよいのか。今回のビジョンは過去の行政計画と比べても現状を真面目に</p>

委員	<p>深く捉えていると思う。しかし、それをこれからどう使っていくのかということの方が大切ではないか。</p> <p>構成よりも、これを読んだ各主体が、自分たちが何をやるのかがわかるようになっていくことが重要である。その点では、基本方針2（既存産業の活性化）のあたりは少し内容的に不足している感がある。具体的に何をやるのかわからない。従来型の補助金がただ羅列しているだけのように見えないか。</p>
委員長	<p>産業振興会議など、当ビジョンを具体化していく場に、実務に取り組んでいる事業者や産業団体に参画してもらうことで連携していくという方法が一般的には考えられる。その場においてこのビジョンをベースに方針や取組を評価し、見直ししながら、協働体制を築いていくということが大切になるのではないか。</p>
事務局	<p>アンケートや懇談会、ヒアリングなどで事業者の声を聴いてきた。ビジョン策定後は各団体に内容の説明をする機会を設けたいと考えている。その中で推進体制についても説明していくので、参画をお願いし、進行管理への協力を得たいと考えている。</p>
委員長	<p>1点、細かいことだが、P28の枠囲みの中の第二パラグラフの「生産年齢人口」は「労働力人口」の方がよいだろう。</p>
委員長	<p>最後に今後の流れについて確認したい。</p> <p>8/4までは追加で意見を出すことができる。今日の意見と追加意見を踏まえて修正したビジョン案をパブリックコメントにかけることになる。したがって、当委員会としての意見は本日をもって集約したということで、次回の第7回委員会では、パブリックコメントの意見をどう反映させたかという報告を市から受けることになる。パブリックコメントへの対応と修正については委員長と副委員長に一任いただくということでよろしいか。</p>
一同	<p>(異議なし)</p>

<p>事務局</p> <p>一同</p>	<p>議題（４）その他</p> <p>第７回委員会のおち、委員会から市に答申をいただくことになるが、これについては委員会のように委員全員にお越しいただくのではなく、委員長と副委員長から市長に答申書を手渡していただく形を考えている。</p> <p>（委員長・委員も含め全出席委員が了承）</p> <p>閉会</p>
----------------------	--

以上